

強い農業づくり交付金 平成 26 年度実績

平成25年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要					
市町名	地区名	事業主体		事業実施期間	
三豊市(観音寺市・善通寺市)	三豊・観音寺・善通寺地区	香川県農業協同組合		平成25年度 (平成24年度繰越)	
事業計画の概要					
<p>(課題)</p> <p>三豊みかん共同撰果場は、柑橘の主産地である善通寺市、三豊市並びに観音寺市から広域集荷して、JA香川県の約5割を共同選果している。</p> <p>柑橘は、<u>平成11年度に設置した非破壊式選果機は、設置後13年を経過</u>し、高品質果実の選果精度が低下するなど実需者ニーズへの対応が遅れている。</p> <p>特に、<u>温暖化で問題となっている生傷による品質劣化は、現在の選果機や目視では判別できないため、消費地到着後に腐敗ロスが発生し、契約取引を行う際の支障となっている。</u></p> <p>また、各生産者ごとに生産履歴を整備しているが、出荷容器に識別表示しておらず、実需者まで<u>トレーサビリティが構築できていない。</u></p> <p>これらにより、ブランド化の向上や契約取引の拡大が困難な状況となっている。</p> <p>(事業内容)</p> <p>以下のとおり、選果機の機能強化を行い、果実品質を安定させることで、消費者（実需者）ニーズに対応した<u>高品質果実を「ふる一つ物語」等としてブランド化を進めるとともに、県内外の実需者との契約取引を増やし、産地の更なる発展を目指す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>生傷を検出できる非破壊式選果機に機能強化</u>することで、果皮の生傷を可視化及び糖度や酸度の測定精度が向上し、安定した品質の果実が出荷できるようになる。 ・生産者、品種など<u>生産者情報や選果日時を出荷容器にバーコードとして表示</u>することで、産地から実需者に至るまでのトレーサビリティシステムを構築する。 					
施設整備計画					
※添付書類：写真					
整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
柑橘 集出荷貯蔵施設	535	870	203,362,358	96,839,000	集出荷貯蔵施設 ・非破壊式選果機 9条 ・トレーサビリティシステム 1式
期待される効果の概要					
項目	24年度 (現状値)	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	26年度 (目標値)	概要
ブランド商品の出荷割合の増加	2.3%	8.3%	8.6%	11.4%	ブランド商品の出荷割合を9.1%増加
契約出荷割合の増加	22.1%	39.7%	34.0%	37.1%	契約出荷の割合を15.0%増加

(写真) 香川県農業協同組合 「柑橘」非破壊選果機・トレーサビリティシステム
(H25強い農業づくり交付金)



写真① 選果機 (全景)



写真② トレーサビリティシステム(バーコードリーダー)



写真③ 非破壊選果機「外観品質用」(外観)



写真④ 非破壊選果機「外観品質用」(内部)



写真⑤ 非破壊選果機「内部品質用」(外観)



写真⑥ 非破壊選果機「内部品質用」(内部)

整備事業
1 産地競争力の強化を目的とする取組用

(香川県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名 メ ニュー ① (対象作物・畜種等名) ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① メ ニュー ② (対象作物・畜種等名) ②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別 追加 採 取 の 具 体 的 実 績	事業内容 (工種、施設区分、構造等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成24年)	1年後 (平成25年)	2年後 (平成26年)	3年後 (平成26年)	目標値 (平成26年)	達成率		計画時 (平成24年)	1年後 (平成25年)	2年後 (平成26年)	3年後 (平成26年)	目標値 (平成26年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
三豊市 (観音寺市・普通寺市)	香川県農業協同組合	果樹【ブランド製品の出荷割合の増加】(柑橘)	2.3%	8.3%	8.6%	11.4%	69.2%	果樹【契約出荷割合の増加】(柑橘)	22.1%	39.7%	34.0%	79.3%	203,362,358	96,839,000	0	0	106,523,358	平成25年9月10日	・非破壊式選果機の機能強化により選果精度が向上し、極早生や中晩柑類の品種についてブランド産品として出荷できるようになった。また、これまで下位等級に格付けしていた果実について、適正評価できるようになり、ブランド産品の出荷割合が増加した。 ・さらに、温暖化で問題となっている生傷の検出装置やトレイリフトの整備により、果実傷み等のレベルが大幅に改善され、契約的取引の割合が増加し、平成25年度は目標値を上回った。 ・平成26年度(最終年度)は、撰果データに基づく高品質果実の生産指導により、契約的取引の数量確保とブランド産品の出荷割合の目標達成に向け取り組んだ。 ・しかしながら、26年度は裏年傾向に加え、記録的降雨や日照不足などの天候不順の影響により、果実の浮皮や腐敗が発生し、契約的取引の基準を満たす果実が減少し、契約出荷割合の目標を達成することができなかった。一方、ブランド産品の出荷割合は、目標達成には至らなかったが、優良品種への更新を計画的に行ってきた経緯もあり、天候不順の中において、25年度をやや上回った。 ・今後は栽培指導や販売活動の強化の取組を図り、目標達成を目指す。	天候不順等の影響により目標の達成には至らなかったが、非破壊式選果機の機能強化により適正な果実評価が可能となり、ブランド産品や契約取引数量が、計画時と比較して増加していることから、一定の効果が得られた。 今後は、栽培指導や販売活動の強化により、目標達成が早期に図られるよう、事業実施主体に対して関係機関と連携しながら指導を行っていく。							

都道府県平均達成率	74.2%	総合所見	異常気象や裏年であったことにより、成果目標を達成することが出来なかった。今後、目標達成が出来るよう関係機関と連携し、栽培管理の指導を強化する。
-----------	-------	------	---

(注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合には、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

平成26年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
善通寺市 (高松市)	善通寺・ 高松地区	農業生産法人 株式会社キウイベリージャパン	平成26年度

事業計画の概要

(課題)

キウイフルーツのうち、県オリジナル品種は、一般に流通する「ヘイワード」に比べて食味が良好であるため、百貨店や果実専門店など実需者の評価が高く市場等から増産を要請されている。

しかし、キウイフルーツ栽培における調整出荷及び貯蔵作業は、全労働時間の約2割を占めるほか、整枝・せん定時期と重複するため、規模拡大する上での課題となっている。

さらに、生産者毎の調整・出荷及び貯蔵作業は、果実品質が不揃いとなり、県オリジナル品種のブランド化を図るうえでの課題となっている。

こうした中、大規模専業経営を志向する農業生産法人等が「株式会社キウイベリージャパン」を平成25年9月に設立し、「さぬきキウいっこ」など香川県オリジナル品種を中心として、栽培技術の統一による品質向上と安定生産、集出荷の一元化による有利販売や生産拡大に取り組むこととなった。

(事業内容)

株式会社キウイベリージャパンが、構成員である農業生産法人及び農家が生産したキウイフルーツを、一元出荷したうえで、共同選果、低温貯蔵、追熟処理並びに一元出荷するため、キウイフルーツの集出荷貯蔵施設(選果場、選果機、予冷库並びに付帯施設)を整備し、キウイ産地の発展を目指す。

・集出荷貯蔵施設の整備により、選果・貯蔵・追熟並びに出荷作業を省力化することで、オリジナル品種の生産規模を拡大する。

・県オリジナル品種のうち、高品質果実を香川県の果実ブランド認証制度を活用し「さぬき讚フルーツ」として出荷し、ブランド化を推進する。

施設整備計画

※添付書類：写真

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
キウイフルーツ 集出荷貯蔵施設	10.36	10	64,039,680	29,648,000	選果場建屋 選果機 2条 予冷库 1基 付帯施設

期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	26年度 (実績値)	28年度 (実績値)	28年度 (目標値)	概要
ブランド品の出荷割合の増加	81.3%	83.1%		91.3%	ブランド品出荷割合を10%増加
振興品種の栽培面積割合の増加	92.4%	95.9%		98.5%	振興品種の栽培面積割合を6.1%増加

(写真) 農業生産法人株式会社キウイベリージャパン
キウイフルーツ集出荷貯蔵施設
(H26強い農業づくり交付金)



建屋全景



選果機 (選果ライン)



選果機 (モニター)



予冷库 (扉)



予冷库 (内部)



ハイマスト型リフト